

滋賀大学教育学部後援会だより

CONTENTS

- 後援会会長・学部長等挨拶… 1
- 教育学部の現状と将来展望… 2
- 卒業式・入学式・入学試験の状況… 4
- 後援会支援活動… 6
- 大学の動き… 7
- 海外留学… 8
- 卒業生就職状況一覧… 9
- 後援会会計報告等… 10
- 行事・学年歴… 12
- 就職体験記… 13
- 寄附のお願い… 20
- 編集後記… 20

つるばみ

VOL.14

編集・発行
〒520-0862 大津市平津二丁目5-1
滋賀大学教育学部後援会事務局
Tel.077-537-7703

就任にあたって

後援会会長 菊池 有紀



菊池後援会会長

本年度新たにご加入いただいた会員の皆さまには、ご加入を心より歓迎するとともに、後援会活動へのご協力を、また、既会員の皆さまには、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の影響や社会情勢の急激な変化などにより、大学生活が大きく変化し、様々な制約の中で学生生活を送ってきました。そのような中ではございますが、学生達のキャンパスライフのより一層の充実を目指し、引き続き大学と連携を図りながら、就職支援、課外活動支援など後援会活動に取り組んで参りたいと考えております。今後とも、よろしくごお願い申し上げます。

学部長挨拶

教育学部長 徳田 陽明

後援会の皆様には、平素から滋賀大学教育学部へご支援くださり誠に有難うございます。大学もコロナによる制限がなくなり、コロナ前に近い形で大学生活が戻ってきました。マスク着用、クラブやゼミでの合宿、多人数での飲食なども個人の判断で可能となっています。キャンパスの雰囲気も随分と明るくなったと感じています。昨年度末には教育設備が更新され、デジタル化されたオンライン授業システムが

導入されました。BYODの推進と相まって、授業が今後ますます進化していくことが期待されます。

さて、2025年は教育学部の150周年です。150周年行事も計画しております。150周年行事を通じて、現役世代とOBの結びつきが強化されることを期待しております。皆様とともに200周年を目指して頑張っていくと思いますので、今後とも物心両面からのご支援のほど、よろしくご願ひ申し上げます。

副学部長挨拶

総務担当 長谷川 武博

学部予算などを担当します。学部予算が減額され厳しい状況です。そのような中で、学部後援会費に助けられています。キャリア支援費ではキャリア支援教員を雇用させていただき、学生生活をきめ細やかにサポートさせていただいております。また、就職斡旋費では就職セミナーなどを開催させていただきます。心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

学生・就職支援担当 中村 史朗

昨年に引き続き、学生・就職担当の副学部長を務めております。学生生活全般に関わることや、教員採用試験対策など就職支援を担当しております。またオープンキャンパスをはじめとする広報活動にも関係しております。長いコロナ禍が明けつつあり、大学の教育活動や諸行事も対面実施が基調となってきました。学生の様子を見ていると、学園祭の準備や就職ガイダンスの参加など、まだ行動にぎこちなさがあるようです。先輩から脈々と受け継がれてきたものを、再生して学生の糧に

できるよう工夫の一年にできればと考えております。

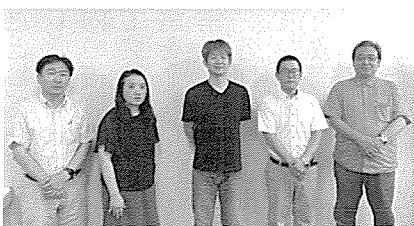
教務担当 鈴木 宏昌

本年度、教務担当の副学部長を務める鈴木です。5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に変更となり、授業もほとんどが対面、部活動にも活気が出ています。キャンパスの情報環境についても、昨年度末にはWi-Fi環境の更新、スマートクラスルームの整備が完了するなどICT環境が整備され、教育におけるDXを推進する環境が整いました。本学部の教育課程や教育内容の充実のために尽力して参りますので、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副研究科長挨拶

久保 加織

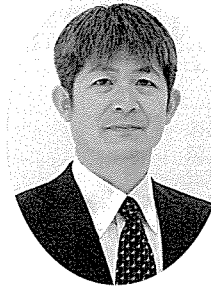
大学院教育学研究科高度教職実践専攻(教職大学院)は、教員のキャリアアップ(ステイジ)に対応した4コースを設置し、学部新卒学生と現職教員学生がともに学び、新しい時代の学校教育・子どもの学びの創出に結びつく高度な専門性と力量を身につけることを目指しています。文部科学省から「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」に選択され、令和6年度からのプログラム開始に向けた準備も進めています。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



鈴木副学部長、久保副研究科長、徳田学部長、長谷川副学部長、中村副学部長、(写真左から)

教育学部の現状と将来展望

教育学部長 徳田 陽明



昨年度より教育学部長を務めております徳田でございます。2016年に理科教室の教員として着任しました。専門は化学です。領域をまたぐ研究分野に興味があり、最近では化学と数学の境界領域の研究を行っています。学生の方には専門的な知識を身につけたからこそ可能になる学校教育を行うてほしいと願っています。

また、2025年は教育学部創立150周年です。周年行事も企画しております。関係の皆様には様々なご支援をお願いいたします。

現状

「新型コロナウイルス感染症への対応」

昨年、コロナの影響も徐々に減りつつあり大学生活も以前の様子に戻ってきたとご報告しました。マスクの着用は個人の自由という

政府方針に従って、大学でもマスク着用は任意、その他の活動もコロナ前に戻すということが進められています。入学当初は学生のほとんどがマスクを付けていましたが、気温も暖かくなりマスクを付けない学生も増えました。

授業はほぼ対面で実施しています。コロナによって学生や教員がオンラインに慣れたということもあり、オンラインも有効に活用しています。例えば、何かの事情で自宅からならば授業に参加できるといった場合、オンラインでリアルタイムに参加させるということが可能となっています。また、教材を後日見れるようにしておいて自習させる、というようなことも行われています。ゼミ指導では、遠方の学生は自宅から出席とすることによって、以前であれば休講にせざるを得なかった状況でも実施可能となっています。オンラインツールも多様なものが利用されています。

学校教育においてもICT活用が広がる中、大学生のうちから様々なツールにふれるというのは良い経験です。そのようなツールを使った授

業を受けることによって、学生自身が利用法を学ぶという側面もあります。コロナ禍の学生は大学生活を十分に満喫できなかったかもしれませんが、このような力を身につけたという一面もあります。

大学の役割は、単に知識を身につけるだけではないことがコロナ禍を通じて再認識されました。様々な人と交流することによって人格形成を図ることも大学の重要な役割です。大学教員も学生と交流することにより自身を研鑽し、それが教育に返っていったことを再認識しました。現4回生が入学した時はコロナが猛威をふるい始めた時だったため、オンライン中心の授業で大変苦労されました。しかし、その4回生も教員採用試験に向けて頑張らつ、最後の大学生生活を満喫しています。

「教育環境のデジタル化」

昨年度、授業に用いるAV機器の大規模な更新を行いました。オンライン授業でネックとなるのは主に音声です。映像についてはパソコンで作画したデータを画面表示すれば内容は伝わりませんが、音声に難があるという理解するのが難しくなります。機器の更新にあたっては全ての音声(映像)をデジタルで集積し、デジタルで配信するということを目指しました。また、教室内のやり取り(複数の音声)を同時に配信することをこなっています。これによつ

て、学外にいたとしても、リアルなやり取りを感じられるようにしました。また、学内の複数の教室を同システムによって接続できるようにしました。大教室を2つ繋ぐことによって、拡大教室として使用できるようになりました。各種のガイダンスで有効活用されています。将来的には他大学の授業を教室や自宅で受けたり、海外の学生と交流をしたり、附属学校の参観をしたり、というような使い方が広がることも期待しています。

「大学院教育」

教育におけるデータ活用はこれからますます重要になってくると思われまます。学部では、それを見越して教育データサイエンティスト養成プログラムが既に開始しており、この春に第一号が誕生しました。学校現場ではまだICT活用に留まっていますが、教育に関するビッグデータを活用し、個別最適な学習を提供するという時代がまもなく到来します。このような背景があり、滋賀大学では、文科省の「デジタルと掛けダブルメジャー大学院教育構築事業」に応募し、採択されました。この事業においては、学校現場でデータ活用できる人材、教育行政においてデータ活用し政策立案できる人材の養成を目指し、データサイエンス研究科と共同で大学院教育を行います。所定の授業、実習、研究を修了

した学生には滋賀県教育委員会より教員免許状に教育データサイエンスが付記される予定です。

このような教育を通じて、学生自身の資質向上に加えて、学部と教育現場、データサイエンス学部との連携が強化されることも期待しています。

教職大学院を修了し学校教員となった後にさらに学びたいという場合には、大学院連合学校教育学研究科博士課程に進学することもできます。連合博士課程において研究を行なうて学位を得た後には、大学等で教鞭をふるうこともできます。

教育学部の目標

昨年より国立大学法人の第4期中期目標期間となりました。中期目標期間とは6年を1つの単位として、それぞれの大学がどのような目標を立て、その目標の実現のために計画を実施していくというものです。滋賀大学では、新たな社会を切り開く変革の駆動力として「未来創生」に貢献する大学を築くことを目標としています。教育学部では、教育課程を高度化することで教職分野を先導し中核となって活躍できる人材を養成することを目標としています。

この目標を達成するために、教育学部では3つの計画を立てました。1つ目は、ダイバーシティ教育を教員養成の重要軸に据え、学士課程、特別支援教育専攻科、教職大学院に

よる教育プログラムの一体的運営を強化しつつ、高い実践力を持った教員を養成するというものです。そのため、附属学校や、障害児者の支援を目的とする音楽教育支援センター等の活用を含め、教育施設での実習を含むカリキュラムの充実に取り組めます。

2つ目は、未来の社会を構築する原動力となる現在の子供たちに、未来を想像させ、社会を未来に向かって発展させるべく学校での教育を行う「未来教師」を養成するために、教育現場でデータサイエンスを活用できる「教育データサイエンス活用」養成プログラムを拡大するということです。また、環境などSDGsに関する学びやSTEAM教育などの問題発見・課題解決的で教科を横断した学びを充実させることで、新時代に対応する教育力を育成します。さらに、附属学校と連携してこれらの教育の現代的課題を中心に教材・授業の研究開発等を推し進め、その成果を人材養成に還元していきます。

3つ目は、学部から博士課程連合大学院に至る一貫した高度な教育人材養成機能を強化することです。そのため、Society5.0時代の教育人材へのニーズ、高度な学校経営の必要性を踏まえ、附属学校や他大学との連携を強化しつつ、新時代の教育分野における人材養成のあるべき姿を提示します。

教育学部の創立150周年と将来展望

2025年は教育学部の150周年です。1875年の小学校教員伝習所に本学部のルーツがあります。2075年に無事に200周年を迎えられることを目指しますので、ご支援のほどをよろしくお願いします。

2004年の国立大学法人化以降の大学の苦境については様々な報道によってご存知の通りです。一方で、滋賀大学にデータサイエンス学部ができたことにより良い風も吹いています。教育界には潜在的にはたくさんデータが眠っています。例えば、学習履歴の管理(どのページに何分かけたか、ペンの動きはどうだったか、苦手な単元が他の教科の理解に影響しているか、など)などがあげられます。熟練した教師であれば長年の経験で指導できますが、経験の浅い教師では指導できないこともあります。このような時に教育データを活用し、個々の児童生徒の到達段階に応じた個別最適化された学びを提供できることは、わが国の公教育の底上げにつながると考えられます。また、このような取り組みを通じて、教育学部とデータサイエンス学部の教員が繋がることにより研究力が向上します。ひいては、学部の教育力の向上にもつながってきます。

不易流行という言葉があります。俳諧の言葉だそうですが、教育界でもよく耳にされたことでしょうか。変わらない部分を大事にしながらも、新しいものを取り入れていくこと、のように解かれています。時代の変化とともにICT活用が取り入れられてきました。次にやってくるのはデータ活用です。データを教育に取り入れることによって教育方法が変わります。しかし、変わったといながらも、教育が普遍的に大事にすることは、やはり人づくりだということだと思います。滋賀大学教育学部は他の大学に先駆けて、このような取り組みを行なっています。

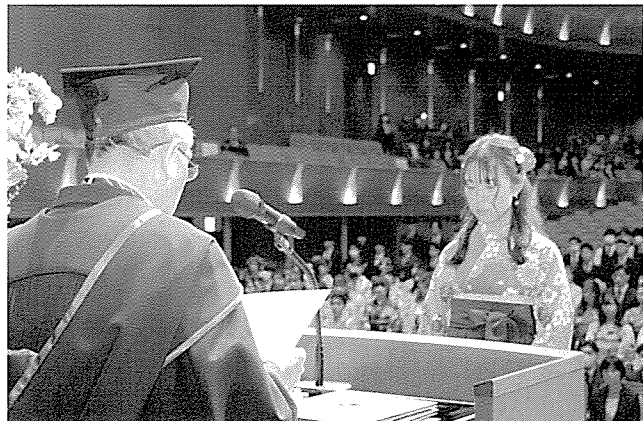
創立150周年を機に現役生同士の繋がりを強めていただき、またOBとの繋がりを強めていただくことを願います。後援会の皆様にはこれまででも様々なご支援を頂いているところですが、これまで以上のご支援をお願いしたくご寄附をお願いする次第です。詳細につきましては次のHPをご覧ください。

<https://www.edu.shiga-u.ac.jp/150thanniversary>



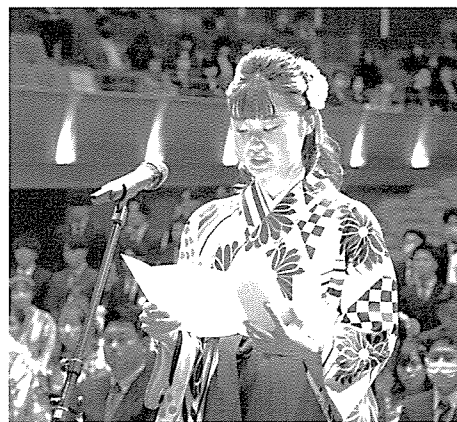
私たちは創立150周年を機に新しい時代にふさわしい教育学部となるよう努力してまいりますので、後援会の皆様には今後ともお力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度 卒業式



学位記を授与される岩垣さん

3月24日(金)、滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修了証書授与式を挙行しました。式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3部制(1部は教育学部・大学院教育学研究科・特別支援教育専攻科、2部はデータサイエンス学部・大学院データサイエンス研究科、3部は経済学部・大学院経済学研究科)に分かれて、びわ湖ホールにて挙行されました。ここ数年は、新



答辞を述べる左子さん

型コロナウイルスの影響により卒業生及び修了生のみ参加としていました式典でしたが、今回は保護者様にも参加いただき、晴れの日を供にお慶びいただきました。

今年度は、教育学部233名、大学院教育学研究科修士課程8名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻(教職大学院)20名、特別支援教育専攻科9名ほか、データサイエンス学部卒業生95名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程37名、経済学部447名、大学院経済学研究科博士前期課程28名、大学院経済学研究科博士学位記授与者1名の合計878名が本学を巣立ちました。
竹村学長から学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授

与に続き、学長式辞で卒業生へはなむけの言葉が贈られたのに続いて、在校生代表の教育学部3回生 小池正悟さんからお祝いと感謝の言葉、また、卒業生代表の教育学部卒業生左子千晴さんから今後の決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。

教育学部学校教育教員養成課程

代表 岩垣 志織さん

大学院教育学研究科学校教育専攻

代表 堤 祥晃さん

大学院教育学研究科

教職修士(専門職)高度教職実践専攻

代表 濱野 裕子さん

特別支援教育専攻科

代表 森山穂乃香さん

また、学業成績優秀者学長賞表彰も行われ、教育学部、経済学部、データサイエンス学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げた3名に、竹村学長から表彰状と記念品が贈られ、その努力と成果を称えました。

学業成績優秀者学長賞表彰者

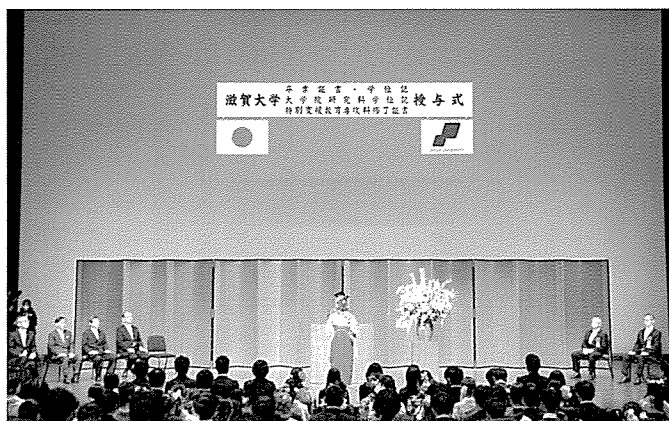
教育学部卒業生

左子 千晴さん



令和5年度 入学式

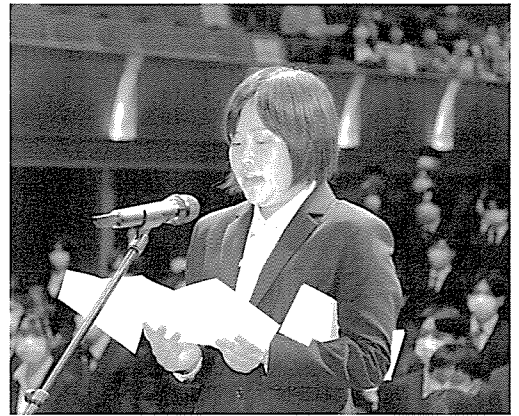
4月5日(水)、大津市びわ湖ホールにおいて、令和5年度滋賀大学入学式を挙行しました。今年度は、教育学部243名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻(教職大学院)26名、特別支援教育専攻科8名、経済学部506名、データサイエンス学部100名、大学院経済学研究科博士前期課程21名、大学院経済学



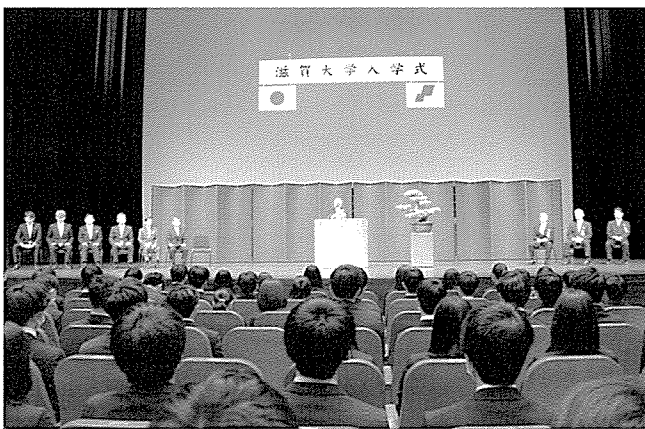
会場の様子 (びわ湖ホール)

式典は、まず教育学部・データサイエンス学部、大学院と特別支援教育専攻科、最後に経済学部の入学式を行い、入学者宣誓、学長式辞、来賓の祝辞、在学生による歓迎の辞、

研究科博士後期課程4名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程50名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程3名の総計961名が、学生生活の新しいスタートを切りました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学部(3学部を2グループ)と大学院・専攻科に分散し、同時に式典のライブ配信を行いました。今年度は4年ぶりに保護者様も参加いただき、新入生の門出を祝いました。



「誓詞」を読み上げる中川さん



会場の様子(びわ湖ホール)

新入学生の皆様が今後、本学で勉学に励み、充実した大学生生活を送ることを願っています。

役職員紹介の順で進行しました。入学者代表 教育学部 入学生中川さきさんから「誓詞」が読み上げられ、続いて竹村学長から「滋賀大学の昨年度からのキーワードは未来創生大学です。世界が未曾有の変化に見舞われるなか、皆さんが滋賀大学で学ぶなかで、自分と社会の未来について考え、未来を切り開く人材に育ってくださることを願っています。」と式辞がありました。

令和5年度 入学試験の状況

教育学部

課程	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
学校教育教員養成	230	(12)1221	(12)794	260	243

※ () は私費外国人留学生を内数で示す。

大学院教育学研究科

専攻	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
高度教職実践専攻	35	30	29	26	26

特別支援教育専攻科

専攻	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
障害児教育	30	8	8	8	8

教育学部都道府県入学者数

北海道	1	岩手県	1	千葉県	1	東京都	3	富山県	2	石川県	7	福井県	9	長野県	3
岐阜県	5	静岡県	3	愛知県	7	三重県	2	滋賀県	81	京都府	54	大阪府	28	兵庫県	8
奈良県	1	和歌山県	1	鳥取県	3	岡山県	4	広島県	4	山口県	4	徳島県	1	香川県	3
愛媛県	2	福岡県	1	長崎県	1	大分県	1	宮崎県	2	私費留学生	0				

大学全体

教育学部	243
経済学部	506
データサイエンス学部	100
大学院教育学研究科	26
大学院経済学研究科	25
大学院データサイエンス研究科	53
特別支援教育専攻科	8
入学者合計	961

(経済学部の入学者に政府派遣留学生4名を含む)

後援会支援活動

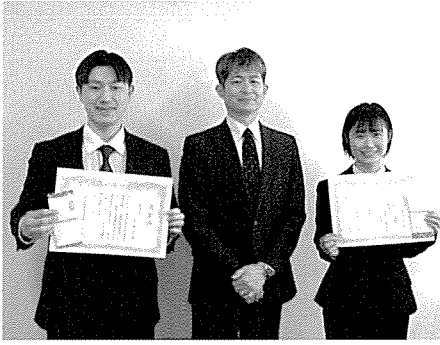
後援会学生表彰

令和5年3月30日(木)後援会学生表彰授与式を挙りました。

後援会学生表彰は、本学部・大学院及び特別支援教育専攻科の学生を対象に体育・文化活動等に関し顕著な成果を挙げ、大学の名誉を高めたものに対して、表彰することを目的にしており、表彰者には、後援会より表彰状及び副賞が授与されました。

表彰者

- 教育学部3回生 呉屋 広樹
- 第40回全日本空手道選手権大会 一般男子中量級 優勝
- 第1回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会男子中量級 第3位
- 教育学部4回生 高木 咲希



(左から呉屋さん、徳田学部長、高木さん)
*柴原さん、吉川さんは欠席

第73回朝日レガッタ一般女子シングルスカル 第3位
教育学部3回生 柴原 茉央

第27回全日本高校大学生書道展 書道展賞(漢字部)
教育学部3回生 吉川 遼祐

全日本大学準硬式野球東西対抗 日本一決定戦西日本代表スタッフ(審判員)

受賞学生からの謝辞

・呉屋 広樹さんから

本日は、後援会学生表彰式に出席させていただき、誠にありがとうございました。今回の表彰を励みにし、より一層競技に邁進して参ります。

・高木 咲希さんから

この度は、栄光な賞を頂き、ありがとうございます。今回の結果を出すことができ、またこの賞を頂いたのは、たくさんの方々のご支援やご声援があったからこそです。今後ともこの賞に恥じないように一層精進してまいります。

・柴原 茉央さんから

この度の滋賀大学挙育学部後援会学生表彰におきましてはご丁寧なご祝意を賜り厚くお礼申し上げます。今回表彰していただいたのも日々の中村志朗先生からの指導、仲間との交流があり「書」のみならず人間としての成長ができる滋賀大学の素晴らしい環境の賜物と感謝申し上げます。皆様の温かな励ましによって受賞することができました。今回の表彰を機にこれまで

以上に精進していく所存でございます。今後とも何卒末永くご指導賜りますようお願いいたします。最後になりましたが表彰式に出席できず書面でのお礼になりましたこと深くお詫び申し上げます。

・吉川 遼祐さんから

この度は、後援会学生表彰という栄誉をいただきありがとうございます。滋賀大学を含め、多くの方に支えていただき甲子園というすべての球児の憧れの舞台に立つことができました。ここまで学業との文武両立で得たことを活かし、小学校教員を目指します。残りの学生生活も1年となりましたが、明るく、謙虚に、素直に吸収し、社会に貢献できる人材になることができるよう研鑽に努めます。この度は本当にありがとうございます。

剣道道具の購入

【剣道部】

この度私たち準硬式野球部は、後援この度私たち剣道部は後援会より竹刀、防具を使うために必要な紐などの剣道を行う上で大切なものを購入していただきました。普段から後援会からの温かいご支援とご協力には感謝の気持ちでいっぱいです。竹刀や紐などはささくれやちぎれたりするなどの破損がすぐに起きてしまうものであり、竹刀などを購入する費用は部員の負担となっております。部員の中には高負担となってしまう

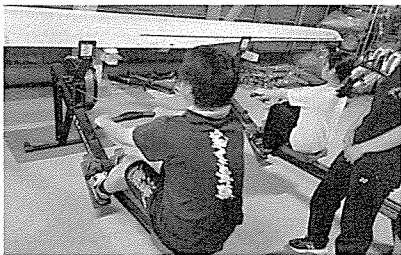
いたしました。そのため、少しでも部員が負担を減らせるようにするため、この度の支援で部員の負担が減つたために、部員一同、大変うれしく感じています。

今回購入し

ていただいた道具は普段の練習だけでなく、3月に開催されました全国教育系大学剣道大会にて早速使用させていただきました。普段の練習では、購入していただいたことに感謝をし、切磋琢磨しながら日々の稽古に励んでいます。また、大会の結果としては予選を勝ち上がり、8年ぶりのベスト8となりました。新しい竹刀を使用して大会に臨みチーム一丸となって最後まで戦い抜くことができました。

剣道部では新型コロナウイルス対策により、マスクとフェイスシールドの着用が必要ではあるが普段の練習を行ってききましたが、大会では、これらに加えて声を出しての応援や無観客での大会の開催となっております。コロナ以前の活気はなくなりましたが、4月にコロナウイルス対策が緩和されると同時に大会での規制も緩和されました。5月に開催された西日本大会におきましては、有観客での大会となり、コロナ以前の活気が戻ってきているように感じました。また、大会での規制緩和だけで





これらは、ボート部の練習には欠かせない物です。エルゴメーターは、ボート競技の水上での動きを陸上のトレイニングで再現

なく、対外試合や合宿なども行えるようになったため試合や合宿でしか得られないような経験を積み重ねていき9月に開催されます。関西大会で結果を残し、全国大会に出られるように部員一同精進していきたいと思えます。

今回購入していただいた道具を大切にし、部活動に取り組んでいきたいと思えます。この度はありがとうございました。

ボート用具の購入

【漕艇部】

この度、私たち漕艇部は、後援会よりローイングエルゴメーターとビデオカメラを購入して頂きました。いつもご支援とご協力誠にありがとうございました。お陰様で、滋賀大教育学部漕艇部は69代目となりました。70年の歴史も間近となるわけですが、ここ数年で、艇・オールなどの劣化が目立つようになってきました。ボートの備品はとて高額であり、部員だけでは補えない物が多々あります。その中で、今回2点を

支援頂きました。

し、漕手の漕力を測定するための器具です。このエルゴメーターでの数値が大会出場基準となっており、エルゴメーターの必要性が年々高くなりつつあります。ボート部は毎日このトレーニングマシンと向き合い、タイムを更新することを目指し、取り組んでいます。エルゴメーターを購入に至った経緯としては、エルゴメーターの経年劣化と部員の増加です。ボート部は現在総勢、25人で活動しており、限られた練習時間の中で、この人数でエルゴメーターを使用するには、数が足りないという状況でした。エルゴメーターの増加に伴って、選手1人1人の練習の質と量を確保することが可能になりました。

また、購入して頂いた広角ビデオカメラは、役割が2点あり、技術力向上と選手の安全を確認することです。前者は、クルーコーチや監督とシエアすることで、より選手に寄り添った指導や選手の課題克服に努めることができます。後者は、ボート競技は水のスポーツであり、命に関わるスポーツです。ビデオカメラは選手が安心して、ボートに夢中になれる環境を作り、選手を守ることができます。今回購入した経緯としては、使用していたビデオカメラが故障したことです。今回のビデオカメラは手振れ補正がついており、より精度の高い動画を撮ることが可能になりました。

前年のような新型コロナウイルスの影響も少なくなり、有り難いことにコロナ以前の部活動に戻りつつあります。私たちは、様々な大会で結果を出せるチームになりました。今

以上に滋賀大学教育学部の発展のため、漕艇部の発展のために、気持ち新たに部員一同全力でボートに取り組みたいと思えます。

今回、購入して頂いた備品は、長期的に使用できるように大切に使用していく所存です。この度は本当にありがとうございました。

大学の動き

紫雅祭（学園祭）の開催

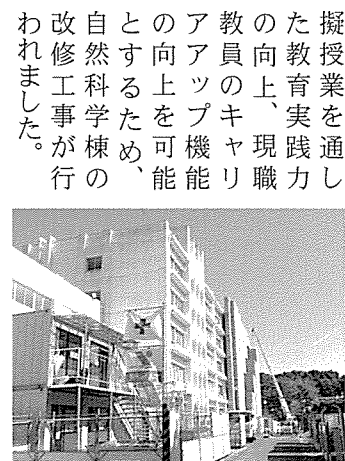
11月12日（土）、13日（日）の2日間大津キャンパスにて、「紫雅祭」を開催しました。学内では有志によるステージ発表、音楽ライブ、教室イベントなどの恒例の企画に加え、3年ぶりとなる模擬店、フリーマーケット、よしもと芸人によるお笑いライブが催され、たくさんの方々が参加し、卒業生及び地域の方々にご来場いただきました。2日目の13日（日）はあいにくの雨となつてしまいましたが、2日間累計で約800名の来場者があり、盛況のうち紫雅祭を終えることができました。



ステージ発表の様子

自然科学棟改修工事（1期）

令和4年度、地域の児童・生徒が参加するセミナーや体験授業などを実施できる実験室、実習室等を整備し、模



保護者懇談会の開催

11月12日（土）教育学部において、学生の保護者様に大学における授業や大学生生活の様子などへのご理解を深めていただく機会として、保護者懇談会を開催しました。

今年度は、初めて対面とオンラインのハイブリッド形式で実施、あわせて約110名の参加がありました。

保護者懇談会では、徳田学部長、鈴木・松丸・中村副学部長より、教育学部の現状、授業・教育実習、就職状況・就職支援体制等について報告を行いました。保護者様からは、教育実習、教員採用試験の制度や支援状況等について意見や質問がありました。

懇談会終了後、対面で参加の保護者様には、同日キャンパスで行われていた紫雅祭（学園祭）をご覧いただきました。



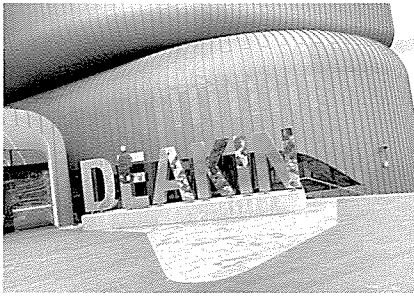
保護者懇談会の様子

海外留学

オーストラリア研修 デューキン大学(オーストラリア) 学校教育教員養成課程

3 回生 長谷川芽衣さん

私は2023年2月から3月の1か月間、オーストラリアのデューキン大学 (Deakin University) に短期留学しました。留学中は、大学の中にある語学学校に通い英語を勉強していました。私は昔から海外・英語が好きで、将来は海外の方と友達になつたり一緒にお仕事をしたりしたいと考えていました。なので、英語でのコミュニケーション能力を伸ばすとともに自分から動ける主体的な人間になるために、滋賀大学の留学プログラムに参加しオーストラリアのメルボルンに留学に行くことを決めました。



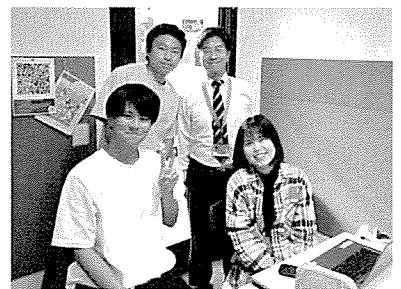
語学学校での授業は、日本の授業とは違って学生が発言することが多く、学生が授業をつ



という感覚がありました。また、語学学校なので1日中英語を勉強します。現地に行く前に英語のテストを受け、それぞれのレベルにあったクラスに振り分けられます。私が留学したのは春休み中ということもあり、語学学校に通うほとんどの学生は日本人で、インドネシアなど他の国からの留学生は数人しかいませんでした。しかし、授業は全て英語で行われ、先生方は日本語が話せないのだから分らないことがあれば英語で説明しなければいけません。このように、授業中の先生やクラスメイトとのやり取りの中で英語でのコミュニケーション能力を鍛えられたと思います。学校の学習の中で最も印象に残っていることは、留学プログラムの最終課題です。私のクラスでは、オーストラリアと日本の文化の

違いをまとめる動画を作るという課題が与えられました。3人グループで取り組むのですが、私たちのグループは家の違いをトピックに選びました。この課題は授業の中では時間は取ってもらえなかったもので、放課後にリサーチ・原稿作成・録画・インタビュー・編集など、それぞれの割り当てをこなしていました。私たちのグループでは、動画作成の際に先生に自分たちの意見が上手く伝えられず精神的に辛いときもありましたが、チームで協力し無事に動画を完成させたときには大きな達成感を感じました。

また、私は留学中に語学学校と同じくらい、もしくはそれ以上に英語力を鍛えることが出来たと思う時間がありました。それは、ホストファミリーとのお喋りの時間です。留学では、寮とホームステイの2つから選べますが、私は英語力の向上も異文化体験もできると考えホームステイを選択しました。ホストファミリーは、夫婦2人と息子さんの3人と犬が一匹という温かい家庭でした。ホストマザーはご飯の準備や洗濯をしてくれて、ご飯中やご飯後は一緒に喋りをすることもありました。今日学校であったことやオーストラリアでの生活の話、日本の文化についてなど、幅広いことについて話すことが出来たととても楽しい時間でした。実際に現地でも生活している人達と一緒に過ごすことで、その



国のリアルな生活を体験することが出来まます。例えば、オーストラリアは水不足の関係でシャワーは約10分で洗濯も週に1回だけということを知ったり、日本では食べたことのない魚・フルーツを食べたりしました。なので、家に帰ってから思わずと新しい学びや気づきの連続でした。また、オーストラリアでは日本ほど相手の気持ちを汲み取って行動するという文化がないように感じました。そのため、ホストファミリーに「何曜日に洗濯してほしい」「今はあまりお腹が空いていないのでご飯はたくさんよそわないでほしい」など、思ったことをしっかりと言葉にして伝えることの大切さも学びました。

放課後や休日には、友人とメルボルンを観光して美しい建物や美味しい食べ物や堪能したり、コアラといった可愛い動物や息をのむほど綺麗なビーチを見たりして楽しみました。オーストラリアでの1か月間は間違いなく自分の価値観を広げ、英語力も失敗を恐れない行動力も鍛えてくれた、かけがえのない時間でした。

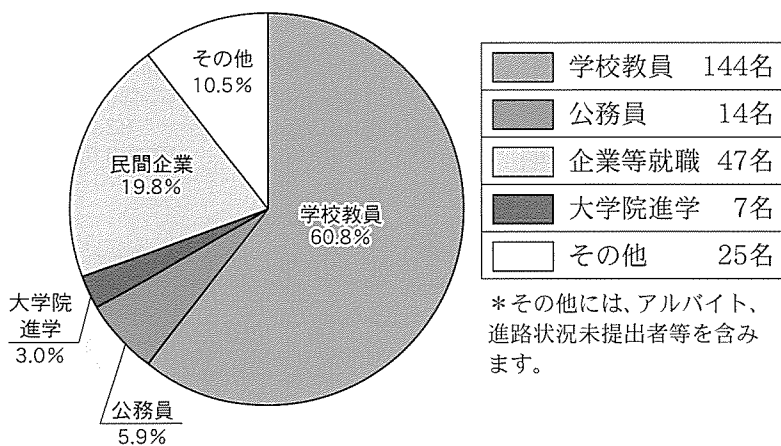
令和4年度卒業生就職状況一覧

卒業生数		教 員					公務員	企 業		合 計	未定者	大学院進学	その他
		教員採用試験合格者		私学等	非常勤講師等	合 計		保育士(内数)	保育士(内数)				
		滋賀県	他府県										
男子	95	27	6	1	13	47	7	20	74	12	3	6	
女子	142	55	15	13	14	97	7	27	131	4	4	3	
計	237	82	21	14	27	144	14	47	205	16	7	9	
(比率)		34.6	8.9	5.9	11.4	60.8	5.9	19.8	86.5	6.7	3.0	3.8	

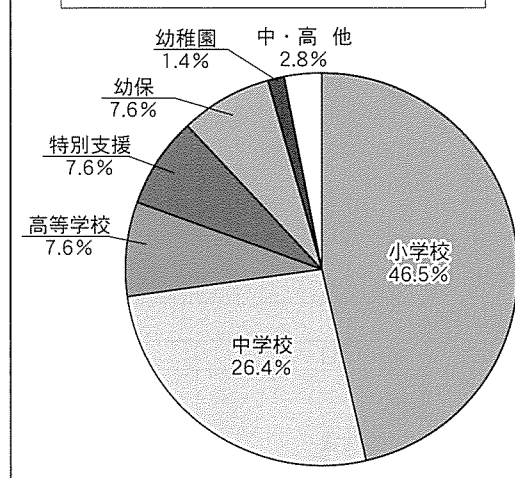
*春学期卒業生4名を含む

■ 卒業生237名(春卒4名を含む)の就職・進学状況 ■

就職状況 (2022年度卒業生)



校種別就職状況 (2022年度卒業生)



◆ 学校教育教員養成課程

○学校教員内訳				
学 校 種	計	男子	女子	
1 小学校	67	25	42	
2 中学校	38	16	22	
3 高等学校	11	4	7	
4 特別支援学校	11	2	9	
5 幼保・こども園	11	0	11	
6 幼稚園	2	0	2	
7 中学校・高等学校他	4	0	4	

○公 務 員				
事業所名等	計	男子	女子	
1 警視庁	1		1	
2 農林水産省近畿農政局	1	1		
3 滋賀県庁	1	1		
4 滋賀県警	1	1		
5 草津市役所	3	1	2	
6 守山市役所	1	1		
7 彦根市役所	1		1	
8 京都市役所	1		1	
9 京田辺市役所	1	1		
10 浜松市役所	1	1		
11 高島市立保育園	1		1	
12 柏原市立保育園	1		1	

○大学院進学先内訳				
大 学 院 名	計	男子	女子	
1 滋賀大学教職大学院	5	2	3	
2 大阪大学大学院	1	1		
3 兵庫教育大学大学院	1		1	

○産業別・企業別内訳				
製造業				
会 社 名	計	男子	女子	
1 (株)プレシア	1	1		
2 三井金属工業(株)	1	1		
3 (株)牧野フライス製作所	1		1	
4 (株)村田製作所	1		1	
5 古河AS(株)	1		1	
情報通信業				
6 サービス&セキュリティ(株)	1	1		
7 (株)システナ	1	1		
8 (株)プラスアルファコンサルティング	1		1	
9 (株)PASSION	1	1		
10 情報技術(株)	1	1		
11 トラストリング(株)	1	1		
12 (株)シオンステージ	1		1	
運輸業、郵便業				
13 (株)AIRDO	1		1	
卸売業、小売業				
14 トラスコ中山(株)	1		1	
15 (株)日貿	1		1	
16 (株)TOKYO BASE	1	1		
17 滋賀トヨタ・ネットヨタ滋賀	1		1	
18 (株)クスリのアオキ	1		1	
金融業、保険業				
19 丸三証券(株)	1	1		
20 アコム(株)	1		1	
21 (株)滋賀銀行	1		1	
22 (株)みずほファイナンシャルグループ	1	1		
23 三井住友トラストビジネス(株)	1		1	

不動産業・物品賃貸業				
24 (株)合人社グループ	1		1	
学術研究、専門・技術サービス業				
25 ランチェスタービジネス(株)	1		1	
26 (株)ブレンセンター	1		1	
27 (株)エフアンドエム	1		1	
生活関連サービス業、娯楽業				
28 (株)クリア	1	1		
教育、学習支援業				
29 アップ教育企画	1	1		
30 (株)ケーイーシー	1		1	
31 (株)成学社	2	1	1	
32 (株)四輝	1	1		
33 (株)京進	1	1		
34 (株)さなる	1	1		
35 (株)LITALICO	1		1	
医療、福祉				
36 (株)湘美会	1		1	
37 ヒューマンライフケア(株)	1	1		
38 (株)KMCライフ	1		1	
39 川和保育園	1		1	
40 (株)コベル	1		1	
41 社会福祉法人虹の会	1	1		
42 社会福祉法人大樹会	1		1	
43 YMCAとさばり保育園	1		1	
サービス業				
44 創価学会	1	1		
45 (株)フルキャストホールディングス	1		1	
不明				
46 不明	1	1		

就職先等	計	男子	女子
*学校教員	144	47	97
*公務員	14	7	7
*企業等就職	47	20	27
*大学院進学	7	3	4
*その他	25	18	7
合 計	237	95	142

後援会理事会よりご報告

本後援会の総会は、後援会規則第8条において、毎年年度始めに総会を開催することになっておりますが、昨今の社会情勢に鑑み、昨年度に引き続き、今年度も中止せざるを得ませんでした。この場を借りまして、改めてお詫び申し上げます。

本来でしたら総会において「令和5年度役員改選、令和4年度決算、令和5年度予算案」についてご審議いただくところですが、総会中止に伴い、後援会規則第8条ただし書きに基づき、令和5年5月13日（土）に開催しました後援会理事会の承認をもってご承認をいただいた旨、ご報告申し上げます。

あらためてここに役員名簿、決算書・予算書を掲載いたします。

令和4年度 教育学部後援会会計決算書（一般会計）

収入				(単位：円)
科 目	予算額	決算額	差引過不足額	備 考
前年度繰越額	1,575,996	1,575,996	0	会費 学部生 @41,000×234名=9,594,000円 大学院生@20,500× 21名= 430,500円 専攻科生@10,250× 8名= 82,000円 合 計 10,106,500円
会 費 収 入	10,106,500	10,106,500	0	
雑 収 入	65	64	-1	(利息収入 64円)
合 計	11,682,561	11,682,560	-1	

支 出				(単位：円)	
科 目	予算額	決算額	差引過不足額	備 考	
事 務 費	50,000	30,510	19,490	通信費、諸経費振込依頼書印刷費	
会 議 費	150,000	93,164	56,836	理事会開催経費	
学 部 後 援 費	研究施設援助費	50,000	0	50,000	
	学生教養費	550,000	549,133	867	学生用雑誌・図書充実費
	学生厚生福祉費	1,950,000	1,941,772	8,228	対外試合交通費援助、課外活動物品援助等
	就職斡旋費	1,500,000	1,472,361	27,639	教職ミナ-援助、就職関係図書・就職体験記原稿筆
	キャリア支援費	2,800,000	2,800,000	0	キャリア支援担当教員人件費
	学部援助費	200,000	69,122	130,878	教育実習援助、衛生用具の購入
	学部行事費	900,000	214,785	685,215	オープンキャンパス実施への支援、構内美化作業に係る援助
	国際交流事業費	800,000	799,730	270	国際交流事業関連援助
	学部広報費	100,000	99,000	1,000	後援会だより
	学生表彰費	100,000	90,000	10,000	表彰者副賞代
積立金	1,000,000	1,000,000	0	積立金会計へ拠出	
情報教育充実費	1,000,000	1,000,000	0	情報教育充実会計へ拠出	
予 備 費	532,561	0	532,561		
合 計	11,682,561	10,159,577	1,522,984		

収入合計 11,682,560 - 支出合計 10,159,577 = 1,522,983 (次年度へ繰越)

令和4年度 教育学部後援会会計決算書（積立金会計）

収入			(単位：円)	支 出			(単位：円)
摘 要	金 額	備 考		摘 要	金 額	備 考	
前年度繰越額	1,420,584			課外活動用物品・設備等	999,742	トレーニング機器の購入	
一般会計より受入	1,000,000						
利息収入	20						
合 計	2,420,604			合 計	999,742		

収入合計 2,420,604 - 支出合計 999,742 = 1,420,862 (次年度へ繰越)

令和4年度 教育学部後援会会計決算書（情報教育充実会計）

収入			(単位：円)	支 出			(単位：円)
摘 要	金 額	備 考		摘 要	金 額	備 考	
前年度繰越額	1,372,967			情報教育充実のための整備	331,311	ウイルスソフト契約に係る経費	
一般会計より受入	1,000,000			情報教育充実のための整備	1,387,760	情報演習室の整備 (コントロール設置)	
利息収入	17						
合 計	2,372,984			合 計	1,719,071		

収入合計 2,372,984 - 支出合計 1,719,071 = 653,913 (次年度へ繰越)

令和5年度 後援会役員名簿

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
会長	菊池有紀	監事	中野小百合	理事	井上亜希
副会長	大塚雅子	理事	川崎寿美	理事	大谷紀子
副会長	桑原正樹	理事	今井百合子	理事	大西麻子
常任理事	松田匠	理事	尾松梨絵	理事	松本直美
幹事	内山俊恵	理事	山路久恵		
監事	小山奈留美	理事	湯本五月		

令和5年度 教育学部後援会会計予算書（一般会計）

収入				(単位：円)	
科目	予算額	備考			
前年度繰越額	1,522,983	会費	学部生 @41,000×233名=9,553,000円		
会費収入	10,086,000		大学院生@20,500× 22名= 451,000円		
			専攻科生@10,250× 8名= 82,000円		
			合計	10,086,000円	
雑収入	64	利息収入			
合計	11,609,047				

支出				(単位：円)	
科目	予算額	備考			
事務費	50,000	通信費、振込依頼書印刷			
会議費	150,000	理事会及び総会等開催経費			
学部 後援 費	研究施設援助費	50,000	教育関係各種団体会費、学会等開催等援助費		
	学生教養費	550,000	学生用雑誌・図書充実費		
	学生厚生福祉費	1,950,000	課外活動物品・交通費援助、大学祭経費等補助		
	就職斡旋費	1,500,000	教職セミナー援助、就職関係図書・教員養成研修補助等		
	キャリア支援費	2,800,000	キャリア支援教員人件費		
	学部援助費	200,000	各種イベント援助等		
	学部行事費	900,000	オープンキャンパス・高大連携事業等補助・卒業祝賀パーティー補助等		
	国際交流事業費	1,500,000	海外研修助成、国際交流事業関連援助		
	学部広報費	100,000	後援会だより		
	学生表彰費	100,000	表彰者副賞代等		
積立金	1,000,000	積立金会計へ拠出			
情報教育充実費	500,000	情報教育充実会計へ拠出			
予備費	259,047				
合計	11,609,047				

令和5年度 教育学部後援会会計予算書（積立金会計）

収入			支出		
(単位：円)			(単位：円)		
摘要	予算額	備考	摘要	予算額	備考
前年度繰越金	1,420,862		課外活動用物品・設備等	2,420,882	救助艇の購入
一般会計より受入	1,000,000				援助等
利息収入	20		合計	2,420,882	
合計	2,420,882				

令和5年度 教育学部後援会会計予算書（情報教育充実会計）

収入			支出		
(単位：円)			(単位：円)		
摘要	予算額	備考	摘要	予算額	備考
前年度繰越金	653,913		情報教育充実のための整備	1,153,930	ウイルスソフト
一般会計より受入	500,000				契約に係る経費等
利息収入	17		合計	1,153,930	
合計	1,153,930				

令和5年度 学年暦等・就職・教育実習・入試関係行事

年月	学年暦・学生行事等		就職関係行事等		教育実習関係行事等		入学試験関係行事等	
	日	事項等	日	事項等	日	事項等	日	事項等
2023	1	学年始						
	1・2	さくら咲くツアー						
	3・6	学生定期健康診断						
	5	入学式	13.20.27	教職実践論Ⅱ(第1~3回)				
	6	新入生オリエンテーション	14.20.27	教職実践論Ⅱ(第1~3回)(幼保)				
	7	春学期授業開始						
	5			11.18.25	教職実践論Ⅱ(第4~6回)小論文指導	29	3回生実習(6/2まで)(小AB班)	
			14.21.28	教職実践論Ⅱ(第4~6回)(幼保)	"	3回生主免特別支援実習(6/16まで)		
					"	粟東教育実習(6/9まで)		
					"	守山教育実習(6/9まで)		
					"	大津教育実習(6/9まで)		
					"	草津教育実習(6/9まで)		
30~		実習Weeks(6/16まで)			"	3回生実習(6/2まで)(中AB班)		
31	開学記念日			30	3回生実習(6/2まで)(中AB班)			
6			1	教職実践論Ⅱ(第7回)小論文指導	上旬	母校・協力校教育実習		
			29.10.16.20	教職実践論Ⅱ(第7~11回)(幼保)身体表現面接指導	5	3回生実習(6/9まで)(小A班)	3	大学院説明会
			8.12.14	教職実践論Ⅱ(第8回~10回)集団討論指導	"	3回生実習(6/9まで)(中A班)		
					12	3回生実習(6/16まで)(小B班)		
					"	3回生実習(6/16まで)(中B班)		
			15	教員採用試験直前模擬面接				
	24	振替授業日(水曜日の授業)						
25	開学祭							
7	6・15	補講日(全学)					10~13	大学院入試(7月)願書受付
	17	授業実施日						
	21	春学期授業終了					22	大学院入試(7月)
	22~	春学期定期試験(7/31まで)					28	大学院入試(7月)合格発表
29	オープンキャンパス					29	大学院説明会	
8	1	夏季休業開始						
	14~16	夏季一斉休業	3.4.5	教職実践論Ⅱ(第11~13回) (教員採用試験二次試験対策講座)				
9					28	3回生実習(9/8まで)(小A班)		
					28	3回生実習(9/25まで)(小C班)		
					上旬~下旬	粟東教育実習(2週間)	1~7	総合型選抜願書受付
					上旬~下旬	守山教育実習(2週間)		
					上旬~下旬	大津教育実習(2週間)		
					上旬~中旬	草津教育実習(2週間)		
					1	3回生実習(9/26まで)(中C班)		
					4	4回生・副免特別支援実習(9/25まで)		
			8	教職実践論Ⅱ(第12回)(幼保)模擬保育等の指導	5	3回生実習(9/11まで)(中B班)		
			15	教職実践論Ⅱ(第13回)(幼保)二次対策	5	3回生実習(幼)(10/3まで)		
27	春学期卒業式・学位授与式			11	3回生実習(9/25まで)(小B班)			
30	夏季休業終了			12	3回生実習(9/19まで)(中A班)	23	総合型選抜 第1次選抜	
2	秋学期授業開始	6	3回生就職・教採ガイダンス	上旬~中旬	大津教育実習(2週間)			
				下旬	粟東教育実習(2週間)	13	総合型選抜 第1次選抜通過者発表	
9	授業実施日			"	守山教育実習(2週間)	16~19	大学院入試(10月)願書受付	
11			4	教員養成研修			20~25	専攻科入試願書受付
	11・12	大学祭	中旬	教育委員会主催教員採用試験・講師登録説明会			20~25	私費留選抜願書受付
							28	大学院入試(10月)
12	上旬	リーダーズ・トレーニング	未定	教職実践論Ⅰ(第1回)				
	16	振替授業日(金曜日の授業)	未定	教育講演会				
	25	冬季休業開始(1/3まで)	未定	滋賀県教員採用説明会				
2024	4	授業再開						
	1	6・20	補講日(全学)				13・14	大学入学共通テスト
	29	秋学期授業終了					19	私費留選抜合格発表
	30~	秋学期定期試験(2/6まで)					22~2/2	前期・後期日程願書受付
2			上旬~中旬	教職実践論Ⅰ(第2・3・4回)	7	3回生主免特別支援実習(2/21まで)		
			中旬~下旬	春季教職セミナー①~④	未定	3回生実習(幼)(2週間)	14	総合型・学校推薦型・帰国生徒・社会人・私費留選抜入学手続
3			上旬	春季教職セミナー⑤~⑩			25・26	前期日程入学試験
			上旬	教職実践論Ⅰ(第5回)			6	前期日程合格発表
							12	後期日程入学試験
							15	前期日程・大学院(7月・10月)入学手続
	25	卒業式・学位授与式				20	後期日程合格発表	
	31	学年終				27	後期日程・専攻科入学手続	



滋賀県小学校 合格

Aさん (教育心理実践専攻)

1. はじめに

今回、合格体験記を書く機会を頂けたことを心から感謝致します。私は大学の先輩や同期の仲間達等たくさんの方の支えがあつて教員採用試験を乗り切ることができました。そして、自分にもできるのだろうか、どのように勉強したらよいのだろうかと不安を感じているとき、先輩方が残してくださったこの就職体験記がとても励みになりました。私のこれまでの経験が皆さんの力になれますように、心を込めて書かせていただきます。

2. 教師という職を選ぶまで

「将来は先生になりたい」と、教師という職に憧れを抱き始めたのは、小学生の時でした。「今日は先生にこんなこと話したいな」「今日はどんなことができるようになるだろう」と、私にとって学校という場所を、ワクワクする場所にしてくれた先生との出会いがきっかけでした。また、友人に勉強を教えて、「わかった!」と喜んでもらえることもやりがいを感じていました。しか

し、年齢を重ねるにつれて「教師は大変な職業だ」ということを理解し始め、自分の中に迷いが生じました。教師になるのか、それとも違う道に変えようか、と悩みながら行つたのが3回生の教育実習でした。35人の子どもたち一人ひとりへの支援を細かく考えていくことや、子どもたちの実態に即した授業を毎日考えていくことなど大変だと感じる部分はたくさんありましたが、なにより「先生!できたよ!」と嬉しそうに目を輝かせる子どもたちの姿に私は元氣とやりがいを感じました。子どもたち一人ひとりを生かす場面を一生懸命考えて作り、できた時、わかつた時には一緒に喜べるという魅力は教師でしか味わえないと思ひ、採用試験を受験することを決意しました。

3. 試験項目とその対策

(1) 一次試験の項目

〔1日目〕

- ① 小論文
 - ② 専門科目
 - ③ 教職教養・一般教養
- 筆記試験
- ① 集団面接
 - ② 集団討論

(2) 一次試験の対策

【小論文】

小論文の書き方については、2月から始まる「教職実践論」で丁寧

教えていただきます。最初、私は小論文の書き方に慣れておらず、自分の考えを文字数内でまとめきることに苦手意識を持っていました。小論文の練習は、何度も繰り返し書いて書き、それをどなたかに添削して書いていただいた後は、指摘を踏まえてもう一度必ず書き直し、小論文の形式が定着するように取り組みました。また、大学から配布される課題例を基に様々なテーマで事前に書いておくと、本番への不安が軽減されると思います。さらに、小論文では「具体策の引き出し」を持つておくことも大切です。教師になつたら具体的にとどのように取り組んでいくのが明確に書けると小論文の質がぐつと上がります。私はマインドマップを用いて、各テーマに関して「具体的にどのようなことを行つていくか」という引き出しをできるだけ増やしていく勉強を行っていました。教師を目指す仲間と一緒にこれまでの経験を話し合うとマインドマップがどんどん広がるのでお勧めです。これは、小論文だけではなく、集団討論でもとても役に立ちます。

【筆記試験】

3回生の2月ごろから少しずつ勉強を始めていましたが、本格的に始めたのは4回生の4月からです。一般教養・教職教養、専門科目の内容は膨大な量であり、すべて丁寧に勉強することはとても時間がかかりま

す。そこで、私が行つてよかったと感じる勉強法をこちらで紹介したいと思います。

各自自治体によって、出題傾向が異なります。出題形式・内容に特徴があります。そのため、その傾向を知ることが効率の良い勉強に繋がると考えています。私はまず、滋賀県の過去問を20年分ほど揃え、解くことから始めました。すると、出題内容の傾向がつかめるようになっていくとともに、自分自身の苦手な分野にも気づくことができるため、丁寧に細かく勉強していくべき分野がわかってきます。そこで、重要な分野から専門書を使って勉強を進めました。出る確率が高い分野は、1つの参考書で終わらせるのではなく、様々な参考書から情報を集め、細かく勉強しておきました。専門書で勉強したところで、「まだ十分に暗記できていない場所」や「ややこしい部分」は一つのノートにまとめておき、赤シートを使って振り返りがしやすいように工夫することがおすすめです。通学時間など隙間時間に何度も繰り返し復習することを大切にしてきたおかげで、本番までにきっちり出題内容を網羅して押さえることができました。

【集団討論・面接】

小論文と異なつて面接試験で大切になるのが「表現する力」です。「この人になら来年から担任を任せられる」と思ってもらえるようにはきは

きと笑顔で、簡潔明瞭に話せるようにすることが重要です。しかし、緊張している状況でこれを行うことは難しいがあります。そこで、私は友人とグループをつくり、何度も「話す」経験を積むことに取り組みました。3回生の2月ごろから練習を開始しましたが、最初は、「志望動機」や「理想の教師像」など自分の軸となる部分を1分間でまとめ、話す練習を繰り返して行いました。一人で練習するだけでなく、友人とお互いに見合うことで、「早口になつてしまう」「話が長くなつてしまう」などといった自分自身の癖にも気づくことができました。

(3) 二次試験の項目とその対策

- ① 個人面接
- ② 模擬授業
- ③ 音楽実技・体育実技

【個人面接】

個人面接は集団面接の時に比べて、細かいところまで質問していただきます。そのため、「なぜ滋賀県なのか」「なぜ小学校なのか」「具体的にどのような取り組み・関わり方をしていくのか」などといった細かい部分まで自分の考えをしっかりと持っておく必要があります。過去問を参考にしながら、自分の考えを的確な言葉で伝えられるように面接ノートにまとめておくとともに、本番形式の練習を友人としておくと、本番でも落ち着いて対応ができる

思います。

【模擬授業】

今年は例年に比べて一次試験から二次試験までの期間が短いように、模擬授業はやるのがたくさんある中で、どこから準備をしたらよいか正直迷いました。県庁では過去問が公開されているので、私は過去問を基に、とりあえず何度も先生や友人の前で実践してみることから始めました。もちろん、授業内容も大切ですが、「授業をどのように行おうとしているのか」という姿勢も多く評価されていると思います。そのため、反応がない状態で授業をすることに慣れ、教師主導ではなく子どもが主体となつて授業が広がっていくようにすること、子どもの発言一つ一つに丁寧に耳を傾け、認める姿勢を大切にできるようにすることが大切だと考えています。友人とお互いの授業を見合い、どのようにすればよりよくなるだろうかと話すことで、一人では思いつかないことが見えてくることもあるので、グループを作つて練習することがおすすめです。一人ひとり違う内容の授業を考え、実践していくと、出題範囲もはやく網羅できます。

4. さいごに

最後までお読みいただきありがとうございます。試験の対策を始める時、やらなければいけないことの多さに驚き、自信を無くしてしまうか

もしれません。でも、滋賀大学には経験豊富な先生や、心強い仲間たちがたくさんいます。周りの人の力を借りながら焦らず、一つずつ丁寧に対策をしていけば、大丈夫です。「教師になりたい」という強い思いと、一緒に頑張つてくれる周りの人を大切にすることを忘れずに、頑張ってください。みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。

滋賀県中学校（音楽）合格

Bさん（音楽専攻）

1. はじめに

今回、体験記を書く機会を頂けたことを心から感謝しています。執筆の依頼を頂いたときに、上手く自分の体験を言葉にして書く事ができなかったが不安でしたが、私の経験が皆さんの力になればと思ひ体験記を書かせて頂く事にしました。

2. 教師という職を選ぶまで

私が教師という職業に就きたいと思うようになったのは、中学校の時でした。当時、吹奏楽部に入っていた私は、部活がとても楽しくて、熱心に指導をして下さっていた顧問の先生をみて「私も先生のように、吹奏楽の指導をしながら指揮ができるようになりたい」と思ったのがきっかけでした。そこから、大学は滋賀大学の教育学部の音楽専攻に行くこと決め、その為に音楽の専門的な授業がある音楽科の高校に進学すると決

めました。そこからずっと教師を目指してききましたが、採用試験の勉強の時に「私にはやっぱり教師は向いていないのかも」と思う事もありました。しかし、私が実習で担当させて頂いたクラスの子どもたちが、私のアドバイスを元に、自分たちで合唱練習をして、本番で今まで一番のとても素敵な歌声を聴かせてくれました。そして見事金賞をとり「先生ありがとう」とトロフィーを持たせてくれた時の事を思い出して、その度に頑張ろうと気持ちをを入れ直しました。教師になりたいと思つたきっかけは中学校の時でしたが、実習での経験は私が教師になるために頑張る力となつてくれました。

3. 試験項目とその対策

- (1) 一次試験の項目
 - ① 小論文
 - ② 小論文
 - ③ 専門科目
 - ④ 教職教養
 - ⑤ ③④ 試験筆記
 - ⑥ ③④ 試験筆記
- (2) 二日目
 - ① 集団討論
 - ② 集団面接

【小論文】

今まで小論文を書いた事がなかったため、採用試験の時にとっても困りました。元々、文章を書くのが苦手だった事もあり、書き切るのにとっても時間がかかりました。しかし、何

回も書くうちに時間内に書き切れるようになり、教育実践論の先生に添削してもらうことでコツも掴めました。指定文字数を書き切るだけでなく、出されたテーマに沿って内容を作る事も大切です。小論文を書く時に使う自分の経験を整理したり、『滋賀県の教育大綱』を読んだりして、教育についてのいろいろな話題を持つことをおすすめします。

【筆記試験】

専門科目は、同じ専攻の友達と一緒に勉強しました。分からないところはお互いに教え合い、また問題を出し合って勉強しました。過去問は最初からは手をつけず、参考書で全範囲を学習してから過去問を解きました。

【集団討論・面接】

面接や討論で大切な事は、「自分の意見を人に伝える事」です。人に伝えるためには、自分の考えを分かりやすく簡潔にまとめる必要があります。初めはなかなか上手く言葉にしていく事が難しいですが、小論文と同じで回数を重ねることにできるようになっていきます。「このテーマのときにはこの内容を使う」という様に、過去に出題されたテーマで話す内容を作っていくと良いと思います。しかし、ここで重要なのは『面接・討論』なので、話すときに丸暗記の文章を読むのは避けるようにした方が良いでしょう。文章の丸暗記は聞

き手に悟られてしまいます。また、緊張で記憶が飛んだ時に困ってしまいます。ですので、話す内容を考える際には、文章で考えるのではなくテーマに沿った「話のポイント」を箇条書きで考える様に私はしていました。

(3) 二次試験の項目とその対策

- ③ 個人面接
- ④ 模擬授業
- ⑤ 実技試験（弾き歌い・リコーダー）

【個人面接】

個人面接では、「面接カード」に記入した内容を元に質問されます。練習の仕方は集団面接の時とほとんど変わりありません。面接カードに書いている内容は、どんな質問がきても答えられるようにしておくこと安心だと思えます。

【模擬授業】

模擬授業は、友達と手分けしてほぼ全ての授業の指導案略案的なものを作りしました。内容は「めあて」「授業の流れ」「その授業の中で教えるポイント」それぞれの題材での「発問」や「生徒の予想される発言」などです。また、「歌唱・器楽・創作・鑑賞」のそれぞれの分野で「歌唱の時はこの型でいこう」という様に、型を作ることによって授業を作りやすくなりました。模擬授業で大切なのは、授業中にどれだけ生徒とのやり取りを

見せる事ができるかだと思います。実際に生徒はその場にはいませんが、生徒がいるつもりで話す時は、「教室の全体を見て話し、笑顔で明るく」を心がけていました。

【実技試験】

弾き歌いは、中学校の共通歌唱教材7曲からくじ引きで出題されますので、全て練習しておいて下さい。ポイントは「目の前に生徒がいると思って弾き歌いする事」なので、ブレスを生徒と一緒にとったり、並んでいる生徒を想像しながら全体を見渡して歌ったりしました。このような理由から、楽譜はほぼ暗譜が望ましいです。

リコーダーは、ソプラノとアルト2種類を演奏しました。初見での演奏でしたが、中学校器楽の教科書に載っているリコーダーの曲が演奏できるように練習していれば大丈夫なレベルの曲でした。しかし、ソプラノとアルトの指遣いの違う2種類を続けて演奏するので、普段から同じ曲をソプラノとアルトの両方で演奏して、指遣いの切り替えができるようにしておく方が良いでしょう。

4. さいごに

最後までお読み頂きありがとうございます。試験対策の途中で挫折する時もあるかもしれませんが、そんな時は、「なぜ教師を目指そうと思っただのか」や「実習で経験した素敵なエピソード」を思い出してみて下さ

い。その時の思いや気持ち、きつと自分を支えてくれると思います。試験の場では、実際に学校現場でお仕事されている講師の方達の経験談を聞いてびっくりするかもしれません。ですが、そこで臆する事なく、皆さんが積み上げてきた様々な努力を思い出し、教師になりたいという熱意を伝えてきてください。最後まで全力で頑張ってください！良い結果になるように応援しています！

大阪府中学校（美術）合格

Cさん（図画工作専修）

1. はじめに
まず初めに、どこの自治体で教師になりたいのかをよく考えて、受験を決めてほしいです。なぜなら、各自治体で大切にしている教育理念が違うからです。自分が共感できる教育方針や理念がある自治体の面接では、「あなたの自治体で先生がしたいです」という本心からの言葉が伝わりやすいです。受けた自治体が決まれば、それに合った試験対策ができます。一般教養が5教科の県もあれば3教科の県もあります。集団面接がある県もあれば個人面接のみの県もあります。そのため、自分が受験する県がよく出題している傾向を基に対策をすることをお勧めします。対策方法や学習方法には大きな差はないと思いますので、参考にさせて頂ければ嬉しいです。

2. 教師という職を選ぶまで

私は昔から子どもが好きだったこと、美術が好きで美術の楽しさを伝えたいことの両方を仕事にできる教師という職に魅力を感じ、大学で教育学部に進学しました。そして四年間の大学生活、教育実習での経験、子どもと関わるボランティア活動などを通して「子どもの成長にかかわる職に就きたい」と思い、教師の道を選択しました。

3. 試験項目とその対策

(1) 1 一次試験の項目

- ・教職教養
- ・一般教養

— マーク試験

(1) 2 一次試験の対策

【マーク試験】

まずは全体の基礎をしっかりと理解できてから過去問を解くと良いと思います。その理由としては、よく出題される傾向をつかむことができ、出題される傾向をつかむことができ、自分の得意不得意が分析しやすくなるからです。最初は基礎的な教育基本法や、学校教育法などの読み込み、暗記するべきことを勉強すると良いです。特に、暗記が必要な知識は長期的な学習が必要なので、早い時期から勉強を始めると良いと思います。私は、YouTubeを活用して教職教養の解説動画で理解を深めてから、過去問

を解いたり自分でノートにまとめたりしました。試験の2週間前からはひたすら過去問を解いていました。過去問を解き、間違えた問題はどの分野(教育原理、教育法規)かを分析し、自分の苦手な分野を一つ一つ潰しました。教職教養以外の試験対策については、講談社『これが本当のSPI3だ!』の問題集を使用していました。数的処理の解説が丁寧で分かりやすく、演習量が多いという点で一般教養を効果的に勉強するのに役立ちました。英語の文章問題に関しては滋賀大の教養英語の内容よりも簡単なので、よほど英語に自信がない人以外は過去問対策の他に力を入れて勉強する必要はないかと思えます。

・アドバイス

教職教養については、過去問と比較すると令和5年度はやや難化していました。特に今年、教育基本法や目標を覚えることは基礎の段階で、その内容が理解できていることを前提とした問題が出題されていると感じました。このような問題を解くためには、根本的な理解が何よりも必要だと思えます。また、教育史に関する問題は、西洋ではなく日本についての内容が出題されるなど、過去問にはなかった傾向がみられました。

(2) 1 二試験の項目

- ・個人面接

(2) 2 二試験の対策

【個人面接】

・具体的な対策

教務係で「教員採用試験受験者報告書」をいただき、過去の質問を中心に面接練習を行いました。また、自分の目指す教育像を明確に持つことと、受験する自治体の目指す教育像を考慮して話す練習をしました。意識したことは、聞かれたことに対して相手が分かりやすいように話すことです。また、本番では最初に志望動機を1分で話すことが求められるので、時計を見ずに約1分間話す感覚が身につくように練習しました。

・アドバイス

二次試験の個人面接は約10分間で、質問内容はエントリーシートの内容から出題されるため、自分自身のことについて理解を深めておくことが大事です。エントリーシートにはボランティア又は部活動の経験について書く項目があります。私はボランティアを通して子どもたちの成長につながる支援を学び、経験したことを実際に教師として学級経営や授業に活かしていきたいということを面接で伝えました。ボランティア経験や部活動経験のある人は積極的にアピールすると良いと思います。そして面接では、面接官とのコミュニケーションが取れるかという人間

性をみられます。落ち着いて明るく元気に話すことと、聞かれたことに對して端的に話すことを心掛けると良いと思います。

(3) 1 三次試験の項目

(1日目)

- ・筆記試験

(2日目)

- ・実技試験 水彩デッサン2時間半、立体1時間

(3日目)

- ①模範授業 (4分30秒)
- ②個人面接 (15分程度)

(3) 2 三次試験の対策

【筆記試験】

筆記試験は、問題の前半がマーク式、後半が記述式です。美術史に関しては、西洋史、日本史のどちらからも出題される可能性があります。中学校で使用されている教科書の隅から隅まで読み込み、内容を勉強できていけば大丈夫です。学習指導要領は、各教科の部分(第2章第6節)から出題されるというのが例年の特徴です。学習指導要領の虫食い問題や正誤問題があるので、自分が覚えやすい方法でとにかく覚えることが大切です。大問3は設定された題材の指導案を書く内容なので、指導案を書くことが苦手な人は練習をするとう良いと思います。基本的には過去問を何度も解いて理解を深めることが大事だと思います。

【実技試験】

大阪府の実技は、水彩、デッサンと立体です。デッサンについては、短期的に描写力を格段に向上させることは難しいので、受験以前からコツコツ練習し、慌てて対策をしなくても済むようにすると良いです。また、一つのモチーフがとても素晴らしく描けたとしても、他がほとんど手つかずでは全体の評価は下がるので、まんべんなく書き進めるのが大切です。試験本番では、終了後にモチーフは回収されるので、採点時に絵とモチーフを見比べられることはありません。よって面接官は受験生の目に映る世界を採点します。焦りながら描く絵と楽しく描く絵とは相手に与える印象は異なるので、見る側も楽しくなるような絵を目指して描きましょう。

立体は、毎年「跳躍」や「変化」などのお題が与えられて作成します。今年度は、和紙のような薄いA4紙2枚、タコヒモ、湾曲できる細い木の棒(30センチ程度)10本、細めの割り箸くらいの木の棒10本、カネダインでした。毎年与えられる材料は違うので、どんな材料でも作れるように練習すると良いと思います。私は、まずは与えられた材料とお題から簡単なスケッチをしてイメージを具体的に持つてから制作を進めました。形は制作途中で変わっていくので、最初に決めた与えたいイメージがぶれないように最後まで作ることを意識できればいいと思います。

【模擬授業】

模擬授業は入室と同時に始まり、15分間で行われます。ホワイトボードとペンが用意されており、事前に構想などを書き込んだA4用紙一枚が持ち込み可能でした。このA4用紙は、自作用のメモとして使うことはできませんが、授業用のプリントとして使うことや面接官に説明資料として見せることは禁止されていません。

私が模擬授業で大切だと感じることは、見せ場と態度です。見せ場は、一時間の授業内の導入、展開、まとめのどの部分が自分は得意か、また、一番の見せ場にできるかを考えて行うことが大切です。また、態度は、恥ずかしがらずに堂々とその場を制することが何よりも大切です。面接官はこれまでに何百人もの模擬授業を見てきているため、いかに堂々とインパクトのある授業ができるかが重要です。模擬授業は練習すればするほどうまくなり、恥ずかしさもなくなりません。

本番では実際に私が教師として教壇に立った時のイメージを持ってもらえるように、「教科書を忘れた人はいませんか」や「プリントが回ってきていない人はいませんか」などの声掛けも行いました。

【個人面接】

個人面接は模擬授業の後に行われます。

三次の個人面接では、二次よりも

大津市幼稚園 合格

Dさん(幼児教育専攻)

1. はじめに

私は、大学の先輩や同期、先生方のご指導とたくさんの支えがあつてこそ、教員採用試験を乗り切ることが出来ました。この度は、このような体験を書く機会を頂けたこと心から感謝致します。

私は、草津市の他に他市を2つ受け、そちらは正直に申し上げますと不合格でした。幼児教育職は、市町村(自治体)ごとに採用試験が行われるため、試験の日程が違えば、複数の自治体を受験することができません。私は、草津市の採用人数が「若干名」という表記であつたため、不安に思い、複数の自治体に挑戦しました。複数の自治体を受験することは、安心感につながる一方で、試験内容は自治体によつて違うため、勉強する内容も多くなります。そのため、複数受験のメリット・デメリットも踏まえて私の経験を伝えていければと思つています。私の経験が皆様のお力に少しでもなることができれば幸いです。

2. 教師という職を選ぶまで

私は、4回生の春まで、保育教諭の道に進むか、小学校教諭の道に進むか悩んでいました。進路決定の決め手となつたのは、やはり教育実習の経験でした。双方の実習に行く中で、小学校には時間の区切りがあり

深く質問されます。対策として、様々な教育問題について自分の考えをもつて答えられるようにしておくことが大切です。いじめ、不登校、教育格差などはよく出題されます。そして一問ではなく、自分の答えをさらに深堀する形で二問三問と聞かれることもあります。上面の答えだけではなく、深堀されたときにも答えられるようにしておきましょう。私が意識したことは、一つ一つの問題に対して回答を持つのではなく、自分の軸となる考えを持ち、何を聞かれてもその軸の考えに結びつくようにしたことでした。そうすることで、想定外の質問が来ても落ち着いて一貫性のある発言ができ、面接官へ思いが伝わりやすいです。また、聞かれたことに対して完璧に話そうとしようとするよりも、自分の言葉で説明するということを忘れずに話すとうまいと思えます。どんな状況でも一生懸命相手に向き合おうとする姿勢が大切です。

4. さいごに

教員採用試験は、受験対策が大変だつたり面接前の漠然とした不安などでネガティブになることもあると思いますが、私は受験をしたおかげで教職教養を深く理解できたり、人と話すときの受け答えなど、社会に出てからも必要なスキルを身に付けることができました。私の受験対策が今後受験される方の参考になれば幸いです。

ますが、幼児教育は比較的ゆっくりとした時間の中で、一人ひとりの子どもとじっくりと関わることで、子どもの興味関心に合わせて遊びを考えるなど、遊びを通して子どもの育ちを支えていくことにやりがいを感じました。また、幼児教育は子どもの成長にとって大きな意味をもつ0歳児からの保育に携われる中で、子供たちが著しく発達していくことにも魅力を感じました。進路に迷っている方は、是非、実際の現場に足を運んでみてほしいです。見えてくるものがきつとあると思います。

3. 試験項目とその対策

【二次試験】

日時…7月10日

内容…筆記試験

①SPI試験(90分)

↓言語(30分)、非言語(30分)、非言語(30分)。

※1つの試験に30〜40問程度、試験開始前に「問題数が多いため、分かなければ次の問題に」と指示有。

②専門試験(90分)

↓社会福祉・子ども家庭福祉(社会的養護を含む)・保育の心理学・保育原理・保育内容および子どもの保健・障害児保育について択一式、30問。

※事例問題多め

【二次試験】
日時…8月29日
内容…①集団面接(30分)

- ・草津市を志望した理由。
- ・人を育てるといふことは何か。何をしていくか。
- ・大学における研究内容について。工夫している所は。
- ・草津市で働く際に、活かせるような自分の強み。

①実技試験

・造形(40分)「大切な人に贈る世界に1つだけのメダルを作ろう」。

↓自分の机…はさみ、のり、セロハンテープ、鉛筆、消しゴム、記入用紙A4 1枚(作品名、作品に込めた願い)、工夫点。共用の机・画用紙、段ボール紙、厚紙、モール、ひも、和紙等。

※「素材の特性を活かして」と指示有。

製作から片付けまで全ての様子を試験官の方が観察。

・ピアノ(15分)

↓自由曲…バイエル、ソナチネからテンポの速い曲を1曲指定。課題曲「ゆき」「バスごっこ」「こりのうた」「かわいいかくれんぼ」等の5曲から1曲選定、選定から練習まで30秒。

※前後の語り掛け有。子どもが目の前に行くと想定して3分以内で行う。

【三次試験】
日時…10月6日
内容…個人面接(10分)

- ・自己PR1分間。
- ・実習に行つて感じた学校での学びとの違い。
- ・幼稚園教諭を目指して大学に行つたか。
- ・小学校実習に行つて幼小連携の必要性は感じたか。(エントリーシートより)
- ↓幼稚園ではどのようなことに取り組みられていたか。
- ・公務員として大切にしたいこと。
- ・公立と私立の違い。
- ・現場で大切にしたいこと。
- ・併願状況は。

試験対策について

○筆記試験

SPIについては、問題集を繰り返し使つて、とにかく慣れることを意識していました。複数の参考書に手を出すのではなく、1冊の参考書を繰り返し解くことで、SPI独特の問題の解き方を身に付けることができましたと思います。私は、『史上最強SPI&テストセンター超実践問題集』(ナツメ社)と『最新最強のSPIクリア問題集』(成美堂出版)を使用していました。当日は、時間との勝負になります。そのため、勉強の時から常に時間を計つて解くように意識していました。

○実技試験

造形試験については、大学から頂いた教員採用受験者報告書を見て、自分が受験する自治体以外の問題にも取り組みました。また、基本的な動物や人等は、描けるように練習しておくと、当日どんな問題であっても安心だと思えます。私は、保育向けの製作遊びが掲載されている本を見て季節ごとの製作にも目を通しました。「造形試験」というざっくりした内容で、年度によって内容も様々なので不安が大きかったです。保育のアイデアを広げるつもりで楽しく製作を行うことが大切だと思えます。

ピアノについては、教育実践論で週に1度、先生にたくさん指導していただきました。昨年度の草津市の試験が私の知らない課題曲だったこともあり、保育の基本的な歌には全て目を通しました。私は、『保育

のうた155』(ひかりのくに)と『いちばんやさしいピアノ伴奏こどものうた136』(成美堂出版)を使用していました。また、今年から前後の語り掛けが追加されました。これについては、他市を受験する際に対策をしていたので、本番も焦ることなく対応することができました。

○面接試験

面接試験については、教員採用受験者報告書や教育実践論の講義の中で指導いただいた項目を1つずつ考えて、面接ノートを作っていました。面接練習は、友達とグループを組み、大学の様々な先生方をお願いしていました。友達や先生方と練習をすることで、意見交換ができ、新たな視点に気付くことが出来ると共に、人前で話す力がついたと思います。私は、複数の自治体を受験していたため、どの市でも対応できる答えを作りすぎていたことが反省点であると考えています。このことが結果的に「それって他の自治体の保育職でもできるよね?」「なぜあえて本市の幼児教育職を選んだの?」と面接官の方に思われてしまう原因となりました。受験する際は是非、「なぜ地方公務員である本市の幼児教育職を選んだか」を考えてみると役に立つと思います。

4. さいに

最後までお読みいただきありがとうございます。幼児教育職の試験

は、1つ1つの試験が1カ月以上空くことが多く、また、三次試験まであるので、試験期間がとて長く、心が折れそうになることもあると思います。実際、私も一次試験が終わった後、二次試験が実技試験であったこともあり、何を対策して良いのか分からず、焦りを感じることもありました。しかし、その時に心の支えになったのは、同じように頑張っている友達の声でした。自治体は違うけれど、職種は違っても、友達と何度もお互いを励まし支え合うことで、自分を高めることができ、最後まで頑張ることができました。時には、息抜きもしてください!私は試験の間ではありましたが、旅行に行くことで気分をリフレッシュさせていました。周りと自分を比べ落ち込む時もあると思います。しかし、今まで頑張ってきた自分を信じ、自信をもって試験に挑んでください!これから試験に挑む皆さんを心から応援しています。

公務員(浜松市役所) 合格

Eさん(社会専攻)

1. はじめに

私は国家一般職、政令指定都市、地方市役所を受験しました。私が公務員試験を通して感じたことが公務員として働きたいと思っているみなさんにとつて少しでも参考になれば嬉しいです。

2. 志望理由

正直、公務員になってこれがしたい!といった思いはありませんでした。しかし、多種多様な業務を通して人々の幸せに繋がる仕事に携わりたいという思いから公務員を志望しました。

3. 公務員試験を受けるにあたって

公務員試験の中で最も大切だと感じたのは情報を集めることです。教育学部で公務員を志望する学生は少なく、自ら情報を集めなければ後々困ることになります。

特に複数の自治体を受験する場合は、日時、受験方法、試験科目の違いを予め理解しておく必要があります。県庁や政令指定都市は試験日程が被ることが多く、逆に地方市役所は複数回受験することができたり、通常より早い日程で組まれていることもあり、その分倍率は高くなる傾向があります。試験慣れするためにも受験することをオススメします。

4. 公務員試験について

公務員を志望するにあたり1番厄介なのが筆記試験です。上級試験では膨大な科目数が強いられ、馴染みのない科目も多く勉強するのがとても大変です。予備校では1000時間程が合格の目安とされています。

予備校は自主学习に加えて授業時間が加わるため時間が膨れてしましますが、自分にとって不必要な授業

は削ることで大幅に時間を短縮できます。(数的処理、民法、経済学以外は自主学习で習得できると思います。)今販売されている参考書の大半は解説動画が付属されているため、予備校に通わず試験勉強に取り組んでも何ら不安を感じることはないと思います。

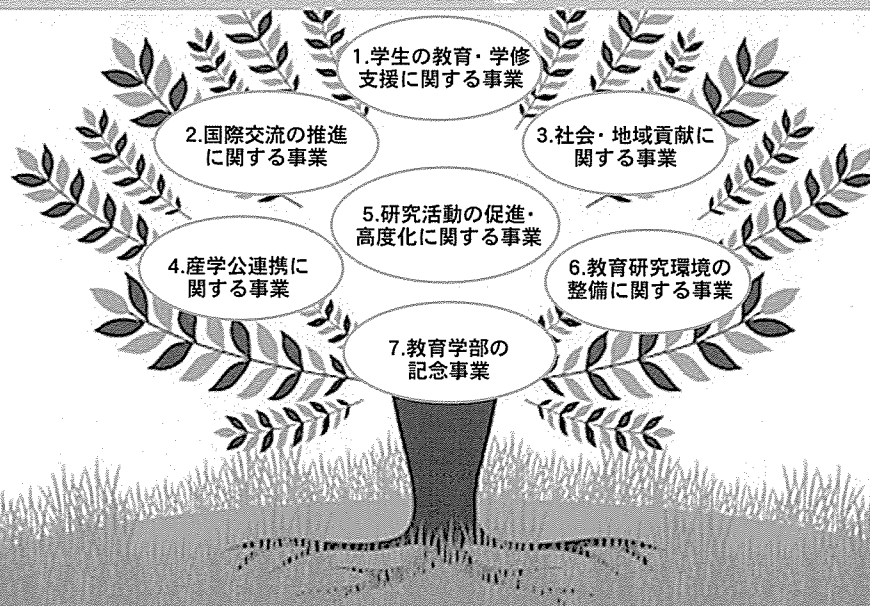
5. 面接練習について

部活、サークル、アルバイト、遊びなどに時間を費やしてしまうと筆記科目をギリギリまで詰め込むため面接や論文に割ける時間はほとんどなく、どうしても直前対策になってしまいます。勉強を進めながら面接のことを考えるのはとてもしんどいのでES(エントリーシート)をしつかり書き込むことは意識しながらまずは筆記試験の対策に力を入れると良いと思います。

6. 最後に

勉強量も多く、何から手をつけてよいのか分からなくなること多いと思います。自分の中でしつかりと優先順位をつけて無駄なものはおきながら公務員対策を進めていくことが合格への最短だと思います。みなさんが希望の進路を歩めることを願っています。頑張ってください。

「滋賀大学教育学部基金」への寄附のお願い



令和5年度より新たに教育学部基金を設置いたしました。

この基金へは、教育学部の卒業生や保護者、大学関係者、附属学校園の関係者、広く一般の皆様方からのご寄附をお願いいたします。集まったご寄附は、その全額を教育学部（附属学校園も含む。）の教育研究環境の充実、学生の学修支援、教育環境整備、地域貢献、共同研究の促進、研究の高度化に加えて、150周年記念事業の実施のために活用させていただきます。皆様のご支援をお願い申し上げます。

* 税制上の優遇措置が受けられます。



滋賀大学教育学部基金 <https://www.edu.shiga-u.ac.jp/150thanniversary>

○授業・休業・退学等に関すること	教務係	TEL077-537-7707	電子メール	kyomu@edu.shiga-u.ac.jp
○学生生活、課外活動、授業料免除、奨学金、留学、就職等に関すること	学生・就職支援係	TEL077-537-7708	電子メール	soudan@edu.shiga-u.ac.jp
○大学院教育学研究科、特別支援教育専攻科の入試に関すること	入学試験係	TEL077-537-7711	電子メール	nyushi@edu.shiga-u.ac.jp
○健康に関すること	保健管理センター分室	TEL077-537-7709	電子メール	hoken@edu.shiga-u.ac.jp
○教育学部教員に関すること	総務係	TEL077-537-7704	電子メール	syomu@edu.shiga-u.ac.jp
○学校図書館司書教諭講習に関すること	企画係	TEL077-537-7701	電子メール	kikaku@edu.shiga-u.ac.jp
○図書館（教育学部分館）の利用に関すること	図書情報サービス第二係	TEL077-537-7710	電子メール	tosyo@edu.shiga-u.ac.jp

編集後記

今後、後援会だより「つるばみ」の内容を充実していくために、会員の皆様の感想や要望、後援会、教育学部に対する要望等、ご意見がございましたら下記までお聞かせください。

〒520-0862 大津市平津二丁目5-1

滋賀大学教育学部

電話 077-537-7703

FAX 077-537-7840